

平成24年度事業計画書

(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

一. 会議

1. 理事会

理事会は3回(5月・8月・2月)

(1) 5月の理事会

平成23年度事業報告・収支決算の承認

(2) 8月の理事会

中山賞(大賞・奨励賞)受賞者、研究助成対象者及び国際交流助成対象者の決定

(3) 2月の理事会

平成25年度事業計画・収支予算の決定

選考委員(専門)の選出

評議員の改選

2. 評議員会

評議員会は2回(5月・2月)

(1) 5月の評議員会

平成23年度事業報告・収支決算の承認

(2) 2月の評議員会

平成25年度事業計画・収支予算の決定

3. 選考委員会

選考委員会は1回(7月)開催し、中山賞(大賞・奨励賞)候補者、研究助成候補者及び国際交流助成候補者を選考する。

二. 事業計画

この年度に実施する助成、褒賞等の各事業は次の計画による。

本年度のテーマは「工学技術の医療・福祉への応用」とする。その趣旨は、別紙「趣意書」の通りである。

1. 助成事業

(1) 研究助成

学際的でユニークな『人間の科学』に関する研究の内、本年度は「工学技術の医療・福祉への応用」の分野を助成する。4月中旬に公募開始、6月15日締め切り。募集方法は、中山書店のホームページ上(財団にリンク)に応募要項等を載せ、電子文書による応募とする。UMIN(University Hospital Medical Information Network)よりリンクを張るなど、インターネットを利用する方法を主とし、その他助成財団の冊子に当財団を登録、また状況によっては、研究誌・学会誌などに応募要項を掲載する。7月の選考委員会の選考を経て、8月の理事会で助成対象者を決定、9月に助成金を交付する。研究の規模に応じて1件あたり50万円から200万円とし、総額400万円とする。

(2) 国際交流助成

海外渡航助成と海外研究者受入助成の二通りとする。本年度テーマと直接関連のないものも受け付ける。

4月中旬に公募開始、6月15日締め切り。募集方法は、上記(1)研究助成と同じで、中山書店のホームページ上(財団にリンク)に応募要項等を載せ、電子文書による応募とする。UMIN(University Hospital Medical Information Network)よりリンクを張るなど、インターネットを利用する方法を主とし、その他助成財団の冊子に当財団を登録、また状況によっては、研究誌・学会誌などに応募要項を掲載する。7月の選考委員会の選考を経て、8月の理事会で決定、9月に助成金を交付する。

海外渡航助成金、海外研究者受入助成金ともに、1件あたり10万円から50万円とし、総額は200万円とする。

2. 褒賞事業

本年度は、「工学技術の医療・福祉への応用」の分野から募集する。4月中旬に公募開始、6月15日締め切り。募集方法は、上記1. 助成事業と同様、中山書店のホームページ上(財団にリンク)に応募要項等を載せ、電子文書による応募とする。UMIN(University Hospital Medical Information Network)よりリンクを張るなど、インターネットを利用する方法を主とし、その他助成財団の冊子に当財団を登録、また状況によっては、研究誌・学会誌などに応募要項を掲載する。他薦に限る。また、関連する学会・協会の代表者又は研究施設の施設長に推薦を依頼する。なお、奨励賞は原則として、公募〆切時45歳未満とする。7月の選考委員会の選考を経て、8月の理事会で受賞者を決定、9月に賞金を交付する。

大賞(賞金300万円)を1件、奨励賞(賞金100万円)を1件とする。

3. 中山賞(大賞・奨励賞)受賞者・研究助成者との会食会

大賞受賞者、奨励賞受賞者、研究助成対象者及び理事、選考委員で、平成24年9月23日(日)に開催する。

4. 褒賞、研究助成(含む国際交流助成)の成果の発表

第20回(平成23年度)の褒賞、研究助成(含む国際交流助成)の研究成果ならびに活動内容の報告を中山科学振興財団のホームページに順次掲載予定。

5. 報告事項

財団創立20周年記念事業の一つとして、平成23年5月28日(土)神田学士会館において行ったシンポジウム講演録「いま考える高齢化社会のヒューマンケア」を2011年12月20日に発行した。